

## NPO・草の根活動

豊中市人権教育推進委員協議会  
地域から「気づき」を考える

## 人権協結成35周年を迎えます

豊中市人権教育推進委員協議会（人権協）は1970（昭和45）年、『差別のない明るい町の実現を』と願う市民の提唱で結成されました。以来35年、今では4千人を超える推進委員を数えるに至っています。人権協の活動の基盤は、市内にある40の小中学校区と18の中中学校区で、地区代表さんを中心にさまざまな人権課題に対する「気づき」を学んでいます。学習の方法は、



2004（平成16）年度 第4回役員常任委員地区代表研修会  
2005年1月26日豊中市立中央公民館  
テーマ「視覚障害者を理解するために」  
講師：関西盲導犬協会歩行訓練指導員 青木言剛（あきよし）さん

## 市民への啓発活動

各地区での日々の活動と併せて、市民への啓発活動として、毎年11月11日に人権月間のスタートとなる「市民の集い」を市民会館大ホールを会場として行なっています。広く市民に呼びかけ、毎年1500人近い参加を得ています。講師を招いての講演と、現在各地区で活躍している推進委員さんからの「自分の気づき」としての意見発表を中心にプログラムを組み立てています。今年は11月10日に李政美（イ・ジョンミ）さんを講師にお招きして「いのち」をテーマに集いを実施する予定です。

## これからの人権協をさぐって

時代の変化にともない、人権課題もさまざまな広がりや深まりをみせています。それらに対応するため、また、地域の変容に伴い、これからの人権協組織を考えるため、年間を通して臨時役員会を開いて、今後の人権協のあり方を検討しています。これまでの35年の積み重ねを大切にしつつ、これからの時代に求められる人権協をめざしていきたいと思っています。

精神保健ボランティアグループ  
「サン・アーチ」“岸和田市”

1993（平成5）年に保健所で開催された「第1回精神保健ボランティア入門講座」を受講した有志が、翌年4月「サン・アーチ」を発足させました。最初、岸和田市に1ヶ所あった精神障害者共同作業所アーチエンタープライズにおいて、月2回の昼食づくりからスタートしました。その後、毎年講座修了生で、ボランティアをしようという人が加わり、現在49名（うち男性6名）になりました。

社会では、まだまだ誤解と偏見が多い精神障害について、もっと多くの人に理解してもらいたいという思いから、当事者の方々とともに次のような活動を行なっています。



ボランティアセンターで偶数月第3土曜日に開催されているボランティアサロンのようす（2005年6月18日）

- ①小規模通所授産施設「アーチエンタープライズ」での毎週金曜日の昼食づくり。
- ②小規模通所授産施設「オーロラ」での月2回の昼食づくり。
- ③地域生活支援センター「かけはし」での毎週木曜日の昼食づくり、クラブ活動などへの参加及びお手伝い。又、「かけはし」内の喫茶シーズンへの協力。
- ④精神保健ボランティア入門講座の開催。
- ⑤市民フェスティバル、福祉センターまつり、ボランティアサロンへの参加。
- ⑥2か月に1回定例会（サン・アーチだよりの発行）
- ⑦精神障害者の生活を支える会「げんきの会」が開催する各行事への参加及びお手伝い。（バレーボール大会・卓球大会・げんきまつり・市民公開講座など）

グループがスタートした頃は、岸和田市には精神障害者共同作業所が1か所しかありませんでしたが、この10年間に精神障害者を支える市民、場所もだんだん増えてきました。これからもみんなで学び考えながら、力を合わせて、市民としてできること、市民だからできることを積み重ねていきたいと思っています。